

第二十二回帝國議會 衆議院 鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治三十九年三月十日午前十時五十三分開議

出席委員左ノ如シ

長谷場 純孝君	大岡 育造君	山本 幸彦君
恆松 隆慶君	北村 左吉君	大野 久次君
牧野 元君	柳田 藤吉君	新井 章吾君
野田 卯太郎君	中倉 萬次郎君	渡邊 修君
奧野 市次郎君	後藤 文一郎君	竹越 與三郎君
長 晴登君	高橋 安爾君	加藤 政之助君
武富 時敏君	根津 嘉一郎君	金岡 又左衛門君
鈴木 久次郎君	西村 丹次郎君	坂口 仁一郎君
村松 龜一郎君	井上 要君	西村 眞太郎君
大戸 復三郎君	藻寄 鐵五郎君	雄倉 茂次郎君
南條吉左衛門君	岡田 治衛武君	服部 小十郎君
安達 謙藏君	石塚 重平君	久保 伊一郎君
松本 恆之助君	淺野 陽吉君	菊池 武徳君
早速 整爾君	大繩 久雄君	小田 貫一君
石田 貫之助君	板東 勘五郎君	

出席國務大臣左ノ如シ

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望君 大藏大臣 法學博士 阪谷 芳郎君
司法大臣 松田 正久君 農商務大臣 松岡 康毅君
逓信大臣 山縣伊三郎君

出席政府委員左ノ如シ

逓信次官 中小路 廉君 鐵道作業局長 平井晴二郎君
逓信省鐵道局長 山之内 一次君 官工學博士

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ國有鐵道法案ノ委員會ヲ開キマス
○淺野陽吉君 私ハ先ヅ第一ニ本日ハ農商務大臣ノ御辯明ヲ煩ハシタイト思フ、過
日ハ内閣總理大臣ノ御演說ヲ謹シテ拜聴致シマシテモ、亦國有案ノ理由ヲ見マシテ
モ、國有主義ヲ政府ガ採ラレル第一ノ理由ハ軍事上、第二ノ理由ハ經濟上遺憾ナキ
ヲ期スル云々ト云フコトデゴザイマスカラ、昨日ノ此會議ノ前ニ大藏省ハ稍、農商務大
臣ノ繩張りノ範圍ニ喰込シテ、農商務大臣ノ御辯明ニナルベキ範圍ノ御說モアリマシタ、
即チ運賃ノ計算ノシキ云々ト云フコトガアッタノデアリマスケレドモ、今日ハ改メテ理

由書ニアル國有主義ニ依ッテ得ラルベキ農商務大臣ガ、今日斷定ヲシテ居ラレル經濟
上ノ遺憾ナキヲ期スルコト云フコトニ付イテノ論據、竝ニ其事ヲ信シラレテ、斷定ヲ下サレ
タ材料ノ御提供ヲ煩ハシタイト私ハ思フ、其御說明ノ範圍中ニ付イテ希望ガゴザイマス
ノハ、過去ニ於テ民設ト官設ト運轉竝ニ營業ノ方法、竝ニ運賃ハ何レガ國家ノ經濟ニ
益ヲ與ヘタノデアアルカト云フコト、將來此鐵道國有ヲ行ヘハ、運賃竝ニ列車運轉ノ經
營、其他營業ノ方法ニ於テ、若干ノ利益ヲ國家經濟ニ與ヘルデアラウト云フ御斷定ガア
ルカト云フコトニ付イテ詳密ナル詰リ農商務大臣ノ此國有鐵道主義ニ對スル大抱負ヲ
承リタイト思フ、其次ニハ逓信大臣ニ對シテ、少シ御尋ラシタイト存ジマス、昨日ノ此會
議ノ席上ニ於テ、陸軍大臣ノ軍事上ヨリ國有主義ノ必要ヲ説カレタ理由ニハ、從來ノ
此民設ノ鐵道ノヤリ方デハ、運賃ガ會社ツレノ區々デアッテ、頗ル運輸上ツレハ困ル
ト云フコトカ一ノ理由デアッダ、第二ノ理由ハ運轉材料カ區々デアッテ、各鐵道通ジテ共
通ガ出來ナイ、竝ニ其不足ト云フコトガ、第二ノ理由デアッタト思ヒマス、モウ一ツ第
三ノ理由ニ、國有ニシテ往々始メテ一絲索レズ、一ツノ手が指ヲ使フカ如クシナケレバ
ナラス、斯ウ云フ理由デアッダケレドモ、最後ニ私ガ聽取リマシタ理由ハ、即チ是ハ陸軍
大臣ノ一ノ大抱負デアアル、斯ノ如キコトハ古來實行ニ於テ未ダ曾テ見ナイコトデアルカ
ラ、一絲索レズ之ヲ使フガ如キコトハ、唯陸軍大臣ノ空想トシテ、大抱負トシテ承ッテ
居リマスガ、第一ニ述ベタ運轉材料ノ不揃ト云フコト、運賃ガ區々デアアルト云フコト
ハ、尤モナ理由ト思ヒマスカラ、此二ノ陸軍大臣ノ要求ハ國有デナケレバ立ツコトガ出
來ナイノデアアル、民設ニ於テハ絕對的ニ之ヲ救フ道ガナイカ、詰リ逓信大臣トシテ民設
ノ鐵道ニ對シテハ、此陸軍大臣ノ要求ヲ救フ、軍事上ニ向ッテ完全ナル要求ヲ與ヘル
コトハ到底出來ナイノデアアルカト云フ信念ヲ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニ逓信大臣ニ伺ヒタ
イノハ、昨日御辯明ニナッタ此法案ノ第一條ニ規定シテアリマス一地方ノ交通云々ト云
フトコロノ定義、是ハ一地方ノ交通ヲ目的トスル云々ト云フ範圍内ニ於テハ、現政府
ハ國有主義ニハ例外ヲ設ケラレタモノト思ヒマスガ、是ハ逓信大臣ガ說明シテ曰ク、或
一地方ノ特種ノ產物ヲ運搬スル鐵道ノミヨ云フ、斯ウ云フコトデアッダガ、果シテソレダケニ
限ッテ居ルモノデアアルカ否ヤ、此事ガ第二デアリマス、尙其他ニ此一地方云々ト云フ範圍
ノ中ニ這入ルベキ鐵道ガアリハシナイカ、之ニ對シテ逓信大臣ノ確乎タル一地方云々
ノ定義ヲ承リタイ、ソレカラ第三ニ國有主義ヲ行ハレタ後ニモ、逓信大臣ハ此鐵道經
濟ト云フモノハ、イザレ特別會計ヲ以テナサル、デアラウト思ヒマス、其場合ニ於ケル此
純益金即チ會社デ云ヘバ、配當ノ金額デアリマスガ、配當ニ充ツベキ金額、政府
デ云ヘバ純益金デゴザイマセウ、其時ノ勘定科目ハ、其純益金ト云フノハ、ドウシテ
割出サレタコトデアアルカト云フコトデアリマス、其内容ヲ私ハ尋ネマス、内容ハ純益金ノ
内カラ公債ノ利子、公債ノ元金、償却ノ金高、即チ會社デ云ヘバ積立金デゴザイマス、
ソレヲ引去リ、尙此表ニ示シテアル通りニ、改良費ト云フモノヲ引去ッタ殘リガ、他日利
益ガアレバ、純益金ト云フコトニナサル、ノデアアルカ、サウシテ其純益金ガ一般會計ノ範

園ニ繰込マレルモノデアラウト思ヒマス——他日國有カラ生ズル純益金ハ、一般會計ニ組入レル、ト思ヒマスガ、其純益金ノ割出方法ハ如何、純益金ノ中カラ公債ノ利子ト、元金ノ償却ト改良費ヲ引キ去ツタモノヲ以テ、純益ノ割出スカ、ソレハ一般會計ノ益金トシテ入レルノデアアルカト云フコト、第四ハ此表ニアル通改良費ト云フモノ、性質如何ト云フコトヲ御問ヒシマス、其内容ハ此表ノ中ニ掲ゲラレタル改良費ハ、遞信省ノ鐵道會計帳簿ノ上カラ是ヲ見マスレバ、——勘定科目ノ上カラ之ヲ見タナレバ、從來遞信省ノ鐵道會計ノ勘定科目ノ中ニハ、純益ト云フ科目ノアルト云フコトヲ私ハ承知シテ居ル、茲ニアル改良費ハ利益金ノ性質ニ屬スルカ、又ハ建設費ノ性質ニ屬スルカ、是ハ將來ノ國有鐵道ノ經營ノ上ニ於ケル純益如何ト云フコトヲ割出スノハ、判定上大事ナコトデアアルカハ是ニ利益金ノ中ニ籠ルベキ性質ノモノカ、建設費ノ中ニ這入ルカ、其邊ノコトヲ承ツテ置キタイト思フ——第五ハ丙號表ニ掲ゲタル、昨日廻タ證據書類ノ中ニ、三年目マデハ一文ノ改良費ト云フモノ、豫算ガナイ、ソレハ國有ヲ三十九年カラ行ッテ、三年目マデハ一文ノ改良費ヲ豫算ガナイノデアアルカ、是ノ如キコトハ實際ニ於テ差支ガナイカ、一文ノ改良費ヲ置カナイデ、今後三四年間ハ實際鐵道ノ運轉ガ行ハルモノデアアルカト云フコトノ疑デアリマス、ソレカラ第六ハ、昨日頂戴シタ計算書ノ中ニ、法律ノ關係ヨリ生ズル經費節約額ト云フ欄ガ一ツアリマス、其數字ハ私ガ今申サナクテモ、既ニ御作りニナツタ遞信大臣ハ、御承知デゴザイマセウ、其法律ノ結果ヨリ生ズル經費節約額ト云フ此金額ヲ、算定シタ基金ノ材料ハ、何シデアアルカ其内容ハ何、カラ幾ラツ、節約ガ出來テ、ソレヲ計上シテ、其額ニナツタカト云フコトヲ、御示シテ願ヒタイ、ソレカラ第七ハ益金部ノ計算表ニ、建設費ニ對スル益金ト云フ欄ガ一ツゴザイマス、之ヲ算定シテ豫算サレタ基本ト云フノハ、ドウ云フコロデアアルカ、現在ノ官設鐵道ノ一ツノ率ヲ以テ計算サレタノデアアルカ、實地四十年間ニ亙ッテ、計算上四十年間ノ間ノ建設費ノ高ハ——益金ノ割出方法ハ、現在ノ官設鐵道ノ運賃ノ割合ヲ以テ爲シタノカ、或年限ノ後カラハ幾分か——總理大臣ノ御演說ニモアルシ、又理由書ニモアリマス通、國有鐵道ノ一ツノ目的ニナツテ居ル、運賃ノ低廉ヲ期スルコトガ行ハレ得ルヤ否ヤ、即チ四十年間ノ長年月ニ亙ッテ、現在ノ率其儘ヲ應用シテ計算サレタノデアアルカ、或ハ何年月カラ後カラハ、低減ノ計畫ヲ此中ニ籠メラレテ居ルヤ否ヤト云フコト、是ガ果シテ現在ノ運賃ノ率ヲ以テ四十年間ヲ通シテ割出シテ居ラル、ナラバ、四十年目ニ至ッテ始テ純益ヲ見ルト云フ計算ニナツテ居ルカ、何年目カラハ低減ノ計畫ヲ此中ニ籠メテ居ルヤ否ヤト云フガ第七デアリマス、是ダケヲ私ハ大臣ノ御答辯ヲ促シマス

○農商務大臣松岡康毅君 唯今ノ淺野君ノ御尋ハ、此理由書ノ中ノ運賃ノ低減ト云フ其中ニ就イテゴザイマスカラ、生産力ハ開發ノ動機ヲ促ス云々ト云フ、是デゴザイマスカ

○淺野陽吉君 農商務大臣ニ御答辯ヲ促シマシタノハ、經濟上云々、經濟全般ニ亙ッテ大臣ノ方針ヲ承リタイ、總テノ點ヨリ割出シテ國有ガ利デアアルカ、過去ニ於ケル國有ハ利デアアルカト云フ——信ズル證據ヲ確カニ御示シテ願ヒマス

○農商務大臣松岡康毅君 分リマシタ、御答致シマス、區々ニナツテ居ル鐵道ヲ統一シテ往々時ニハ、非常ニ經費ガ省ケルコトハ疑ノナイ數理デアリマス、經費ガ省ケテ、統一

ガ出來ルトシマスレバ、運賃ノ低減ガ出來得ルト云フコトモ是モ當然ナコトデアリマス、サウナリマスレバ、生産力ニ如何ナル關係ヲ持ツカト云フコトモ、至ッテ諸安イ道理デ、今日デモ工業品、殊ニ外國ニ輸出スル品ナドニ付イテ、運賃ヲ廉クシタイ、又外國ヨリ原料ヲ取ッテ內國デ製造スル物品等ニ付イテモ、海陸ノ運賃ヲ成ル可ク廉クシタイト云フコトモ、是モ實業上ニ於テカネノ希望ノアルコトデアリマス、然ルニ鐵道ガ統一ヲシテ、費用ガ少ナク掛リ、便宜宜クナリマスレバ、無論運賃ヲ低減スルコトガ出來ルヤウニナル譯デアリマス、サウスレバ唯今ノ如ク生産力ニ大ナル影響ヲ與ヘルコトハ誠ニ明確ナコトヲ疑ヒテ容ル、餘地ガナイト、斯ウ私ハ信ズルノデ、此案ヲ提出シタ譯ニナツテ居リマスノデ、尙御尋モアリマスレバ、更ニ御尋ネテ願ヒマス

○淺野陽吉君 續イテ尙御答辯ヲ願ヒマス、現在ニ於ケル民設ト官設ノ運賃ノ方法、竝ニ營業ノ仕方竝ニ其運賃ハ今日マデノ實績ニ徴シテカラ、所謂民業ヲ助ケ難イト云フトコロカラ割出シタ答辯ヲ欲シイト云ツタノデ、農務大臣ハ御失念ニナツタノト思ヒマスカラ、再ビ御答辯ヲ促シマス、實情ニ付イテノ御話ヲ願ヒタイ、過去現在ノ運賃、竝ニ運轉ノ方法ヲ營業ノ仕方カラ割出シタル事實ノコトヲ、農商務大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ、產業上ニ於ケル……

○農商務大臣松岡康毅君 御答致シマス、運轉方法ハ如何ニヤツテ居リマシタカ、過去ノコロハ能ク存ジマセヌガ、將來ニ向ッテ遞信大臣ハ上手ニヤリマセウ、唯、從來ノ如ク區々ニナツテ居リマス、一ツノ品物デモ各所デ運賃ガ違ウシ、頗ル荷主ニ於テ不便ナナルコトハ明カナコトデアリマシタ、是ガ一緒ニナツテ速ニ往キマスレバ、ソレバカリデモ此實業上ニハ便利デアリマス、殊ニ運賃ガ低減スルト云フコトニナリマスレバ、益、ヨイ、是ヨリ以上本官ニ於テハ信ズルコロモ、見込ムコロモアリマセヌノデ、從來數十ノ鐵道會社ノシテ居タルノハ是カラ統一シテ、政府ガヤリマスレバ、ソレハ極メテ十分ノ便利ガアラウト信ジテ居リマス

○淺野陽吉君 過去ト現在ノコトハ御承知ナイト云フ以上ハ、別ニ言フコトハアリマセヌ、此上ハ遞信大臣ニ七ツノ質問ニ對シテ御答辯ヲ願ヒマス

○遞信大臣山縣伊三郎君 唯今淺野君ヨリ澤山ナ御質問ガアリマシタガ、第一ニ私ヨリ御答シテ置カウト思フノハ、此地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ノ此定義ヲ明カニシテ置イテ貫ヒタイト云フコトデアリマスガ、是ハ淺野君ノ御見込デハ、マダ外ノモノモ今日輕便鐵道ト云フモノ、内ニモ、或ハ其中ニ這入ルト云フ御考ノモノモアルカモ分リマセヌ——分リマセヌガ、此第一條ノ一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ、政府ノ認メテ居ルトコロデハ、コレノモノデアアルト云フ次第デアリマスカラ、ソレデ御了解ニナルコト、思ヒマス、ソレカラ、其他ノコトニ付イテハ、イロノ／＼計算ニ涉リマスルコトガアリマスカラ、其他

ノ政府委員ヨリ御答ヘサセルコトニ致シマス

○政府委員山之内一次君 唯今淺野君カラ御尋ネデゴザイマシタノハ、昨日差上デデアリマスルコロノ丙號ノ總益金割出ノコトニ付イテ、御尋ガアリマシタカラ、是ニ付イテ御答ヲ致シマス、此丙號ノ總益金ニ付キマシテ、割出シマシタ元ハ、此鐵道買收ニ要スル公債償還年限計算表ト申シマスモノ、シマヒニ備考ニ詳シク書イテ居リマスカラ、之ヲ讀ムト云フト明カニナルデアアラウト思フ、此三ノ方ハ——始メカラ讀ミマセウ

○淺野陽吉君 過去ト現在ノコトハ御承知ナイト云フ以上ハ、別ニ言フコトハアリマセヌ、此上ハ遞信大臣ニ七ツノ質問ニ對シテ御答辯ヲ願ヒマス

一、建築費第一年(三十九年)ニ於テハ三十九年上半期末現在實額ヲ採リ第二
年ヨリハ前年中ニ得タル改良費ヲ遞次加算シテ將來ノ建設費トス
是ハ將來建設費ノ段々増シテ往クノハ、ドウ云フ譯テ増シテ往クカト云フコトヲ現ハス
メニ書イタルアリマス、其次ハ

二、建設費ニ對スル益金割合ハ三十二年乃至三十六年ノ五箇年間開業線各半
期末建設費合計ニ對スル分同年間益金合計割合(一箇年トシテ)即、〇・八〇
九ヲ求メ其割合ハ三十七年乃至三十六年ノ十箇年間ニ於ケル各年度建設費

ニ對スル益金割合ノ各其年前年ニ對スル増減割合ヲ平均シタルモノ即、〇・一
四三宛各年遞次増進スルモノト假定シテ算出シ一割三分ヲ以テ最高限度ト定
ム但建設費ニ對スル益金割合ハ買収三十二鐵道ノ實數ヨリ算出ス

是又説明致シマスルコト云フト、此年々ノ遞減ノ割合ト云フモノハ、ドウ云フ風ニ取ツカ
ト云フト、是處ニ書イタルアリマス通、三十六年度カラ溯リマシテ前五箇年ノ建設費ニ對
シマスルコトコロノ益金ノ割合ヲ出シマシタルアリマス、ソレヲ基本ト致シマシテ年々多少

ツ、平均ヲ致シマスルコト云フト、増進シテ參リマスルカラ、其増進割合ト云フモノハ、矢張
三十六年度カラ溯リマシテ、前十箇年ノ間ノ平均ノ増進割合ヲ見マシテ、サウシテ三十

七年度ハ、即チ三十六年マデノ平均デ、其増進割合一分四厘三毛ヲ増シタルモノヲ拵
ラヘ、三十八年度ハ又三十七年度ノソレデケ増シタルモノヲ拵ヘ、三十九年度ハ三十八

年度ノ増シタルモノヲ拵ヘテ拵ヘタルモノガ、茲ニ出テ居ル八分四厘五毛ニナリマス、ナゼ三
十六年カラ取リマシタルコト云フト、三十七年三十八年ト云フモノハ、戰爭ノ時代デアリ

マシテ、平日ノ有様トハ餘程趣ヲ異ニシテ居リマスル故、將來ノ見込ヲ立デマスルノニ
ハ、成ルベク當リ前ノ年テ取ル方ガ、最も適當デアラウト云フコトヲ考ヘマシタルメニ、三

十六年度カラ遡リテ何年ト云フコトヲ取リマシタルアリマス、ソコデ割合ヲ出シタル元ハ
是テ御承知デアラウト思ヒマス、ソレカラ改良費ハ丙號ニ依ツテ見ルト、三年間ト云フモノ

ハ全クナイガ、ソレデ差支ハナイカドウカソレデ運輸ガ出來テ往クカドウカト云フ御尋ネデア
リマシタル、ソレニ付イテ御答ヲ致シマス、是ハ今御話申シマシタル方法ヲ以テヤツテ、公債ノ

利子ヲ此内カラ特別會計ニ致シマシテ、外ニ國庫ノ御蔭ヲ蒙ラズシタルコト云フコトニナ
リマス、斯ウ云フ順序ニナルト云フコトヲ、單ニ算盤デ年々ノ平均ヲ現ハシタルアリマスカ

ラ、是カラ先キノ實際ニナリマスルコト云フト、毎年此算盤通ニ一定不動ニ往クト云フコト
ハ、ドウシテ出來得ナイコトデアリマス、併ナガラ一定不動デイカナイコトヲ、四十年ハド

ウ云フ風、五十年ハドウ云フ風ニ往クト云フコトヲ、今カラ確實ニ申上ケルコトハ、事實
困難デアリマスカラ、平均斯ウ云フ風ニナツト云フコトヲ、算盤デ現ハシテゴザイマスル、

改良致シマスルコト云フコトハ、必要ガアリマシテ、改良ヲシマスルノデアリマスカラ必シモ一
年ノ内ニ改良費ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトモナケレバ、又必シモ改良費ヲ入レテナ

ラヌト云フコトモナク、其時ノ事情ニ依リマシテ、或ハモウ少シ客ノ待遇ヲ善クスル、
必要ガアリトスレバ其方ノ設備ヲ致シマスルシ、又或ハ荷物ノ揚ゲ卸シノタメ、特別ノ設

備ヲスルノガ、荷主ノ利益デアリ、又營業者ノ便利デアルト云フコトニナリマスレバ、其方
ノ改良費ト云フモノヲ加ヘルノデアリマスカラ、若シ此間デモ必要ナコトガアリマスレバ、改
良費ヲ加ヘナケレバナラヌト云フコトデアリマスレバ、固ヨリソレハ外ノ財源ナリ何ナリヲ考

ヘマシテ、改良ヲ加ヘテ往クヨリ外ニ仕方ガナイノデアリマス、是ハ昨日カラモ段々大臣カ
ラモ御話ノアリマシタル通、此算盤ガ斯ウ云フ風ニシテ、五箇年ダケ公債ヲ据エ置クコトニ
シテ、サウシテ改良費モ此内カラ入レルヤウナ方法ヲ採ツテ、サウシテ公債ノ元金ト云フモ

ノモ償還シテ往クコトニスレバ、斯ウ云フ風ニナルト、斯ウ云フコトハ、凡ソ間違ハナイモ
デアルト信ジマスルコトコロノ方法デアリマシタルニ外ナラヌノデアリマス、ソレカラ此改良費ト

云フモノハ、建設費ニ這入ル性質ノモノデアルヤ否ヤト云フ御尋ガアリマシタルガ、是ハ改良
費ト云フモノハ、固ヨリ此建設費ニ這入ルベキ性質ノモノデアル、チヨットモウ少シ前ニ御

話シタルコトヲ申シ殘シマシタル、現狀維持ト云フコトハ、此改良費ヲ加ヘナイデモ、年々
ニ修繕ヲ相當ナモノニ見積テ、サウシテ修繕費デ現狀ヲ維持スルコトガ出來ルノデアリ

マス、大イニ改良ト進歩ヲ計ル必要ガナイ時ニ、其修繕費ダケデ現狀ヲ維持シテ往クノ
デアリマスカラ、必要ノナイ時ハ必シモ改良費ヲ入レスデモ、鐵道ノ運賃ハ十分ニ出來

テ往クノデアリマス、ソレデ第三ノ純益金ノ割出金ト、ソレカラ其次ニ改良費ノコト、並
ニ其次ノ再號表デ御尋ニナツタコトダケハ分ツテ居ルト思ヒマス、ソレカラ其次ニ第六統

一ノ結果、節約スルコト云フコトガ出テ居ル、是ハドウ云フコトカラ出テ居ルカト云フ御尋
デアリマスガ、是ハ統一ヲ致シマスルコト、三十二會社各本部ヲ拵ヘテ居リマスカラ、總

計費ガ隨分餘計掛ツテ居リマス、是ガ官ニ一ツニ統一シテ總メマスルコト、其總計費ト云
フモノガ大ニ減ジ得ラル、理由ガアルノデアリマス、ソレハドウシテ割出スカト云フト、現

在ノ官鐵ノ總計費ノ割合カラ、此私設ノ總計ト云フモノヲ割出シテ見ルト、凡ソノ位
デ出來ルト云フコトガ分リマスルカラ、ソレデ出シマシタルモノガ、ソレガ即チ百八千八

百二十七圓トナリマス、ソレカラ澤山ノ會社ニ分レテ居リマスガタメニ、種々此連帶輸
送ノ關係ガアリマスノデ、其連帶輸送ノタメニ算盤ヲ致シマス手數ガ餘程多イ、是ニ費

ス費用ガ隨分餘計アリマス、ソレカラ連帶シテ居リマス、停車場ニ連帶ノ結果、車庫
掛ガ居リマス、サウ云フ者ガ一社ニナリマス、省ケマスカラ其費用ガ十九萬二千五百

五十圓、此二口合セマスモノガ即チ此表ニ載ツテ居リマスルコトコロ、百二十七萬餘圓
トナルノデアリマス、是ダケ統一ノ結果、當然節約減シ得ラル、モノデ、即チ私線ハ益金ノ

内ニナルベキモノデアルト云フノデ、ソレデ茲ニ揚ゲマシタルデアリマス
○淺野陽吉君 昨日陸軍大臣ガ軍事上ヨリ要求セラレタ、運賃ガ區々デアルト云フコ
ト、國有ニシナケレバ絕對ノ二救済スル途ガナイカ、私共考ヘルニ民設デモ施政ノ宜シ

キヲ得タナラバ、民設デモ差支ナイト思フ、ソレハ議論デアリマスカラ申マセヌガ……
○政府委員山之内一次君 御答致シマス、統一一致シタルコトヲ悉ク如何ナル特殊ノ線

路デモ、一定不動ニ悉クシテ往クト云フコトハ、是ハ事實如何ナル國ト雖モ、一定不
動ト云フコトハ出來難クアリマセウ、ケレドモ大體ハ統一シテ往クト云フコトハ、是ハ云フ

テ憚ラヌコトデアラウト思ヒマス、其上統一一致シマス、遠距離ノ遞減法ナドモ別々ニナ
テ居リマスノ致シマス、餘程異ウコトニナリマス、ソレカラ私設鐵道デアリマス、ドコ

ドコデモ出來ナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハ成程法律デ監督官廳ガ命令スル權
限ヲ有ツテ居リマス、併ナガラ如何ニ監督官廳ノ命令ト雖モ、苟モ營利會社デアリマスカ
ラ、悉ク營利ヲ全ク犧牲ニ供シテ、命令スルコトハドウシテ出來得ナイコトデアリマス、遠
距離デアリマス、遠距離遞減ナドハ一ノモノデアリマス、十分出來得マスケレドモ、其

例へば或一ノ會社ハ百哩ヲ有テ居ル、其次ニ僅カ十哩ノ鐵道ガアルト致シマス、其百哩ノ始マリカラ、品物ヲ運搬シマスニコロガ、遠距離ノ遞減法ナドハ、其小サイモノニ直チニ遠距離ノ遞減法ヲ當辨メルト云フコトハ、到底利益ヲ全ク侵害スルニアラズンバ、事實出來得ナイコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデ監督官廳ノ命令致シマスルモ、ソナコトハ餘程斟酌シタ上ノ命令デナケレバナラヌ、全ク會社ノ利益ヲ見ズシテ、成程公益機關デアリマセウガ、或程度マデハ犧牲ニ供シテモヤラナケレバナラヌト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアリマスガ、ソレモ或程度タケノコトデアラウト思ヒマスコトデ、此統一シテ官デ有チマス、會社ガ分立シテ會社ノ利益ヲ計ルト、自分ガ利益ノタメニヤリマス云フコトハ、餘程差ガアルコトハ明白デアラウト思ヒマス、併ナガラ命令デドコゴドモ出來得ナイコト云フ御尋デアリマスガ、會社ノ利益デモ侵害シテ、ソレハヤレナイト云フコトハナカラウト思ヒマスケレドモ、ソレマデヤルト云フコトハ、如何ニ監督權ト雖モ、私ハ穩當ヲ缺イテ居ルト思ヒマス

○淺野陽吉君 モウ一ツ關聯シテ御尋シタイ、私ノ問ト齟齬シタ御答ガアッタヤウニ思ヒマス、私ガ尋ネマシタノハ、建設費ニ對スル益金ノ割出ト云フコトハ、御答辯ニナタコトハ是ヲ讀ミマスレバ分リマスガ、私ハソレニナカタコトヲ御尋シタイノデ、四十年後ノ計算上ノ運賃ハ、如何ニスルカ將來ハ運賃如何ニスルカト云フコトヲ、私ハ御尋シタノデアリマス

○政府委員山之内一次君 御答致シマス、唯今ノ御尋ハ此計算ヲ致シマスノハ、先刻御答致シマシタ通、二十六年カラ末ノ割合デ往キマスノデ、此内ニハ斯ウ云フ考ヲ算盤ノ内ニ立テ、這入ッテ居ルノデアリマセヌ、アリマセヌケレドモ、運賃ノ遞減ト云フコトハ、別問題ニナル積リテ、政府ノ考デハ遠距離遞減ヲ致シタケデモ、現在アチコチデヤッテ居リマスノト、現在作業ノ遠距離遞減ノ法ニ直シマス、餘程ノ減額ガアリマスノミナラズ、今日ノ狀態ニシマシテモ、又運賃ヲ多少減額シマシテモ、利益ノ害ハナクシテ、益ヲ損セズシテサウシテ往キマスルニコロノ、見込ガアルノデアリマス、今直チニ要ラヌ數ヲ出スト云フコトハ、御答ヲシ惡イデスガ、多少ノ減額ヲ致シマシテモ、荷物ノ動キガ多クナルタメニ、利益ガ却ッテ増ストモ減ズルコトハナクシテ、荷主ノ便利モ得ラレヤウト思ヒマス

○金岡又左衛門君 私ハ總理大臣並ニ大藏大臣ニ說明ヲ請ヒタイト存ジマス、先ヅ第一ニ總理大臣ニ御尋ネ致シマスルコトハ、去ル一月二十六日ノ本院ニ於ケル、豫算委員ノ總會ニ於テ、總理大臣ハ將來ニ於ケル施政ノ方針、戰後ノ經營ニ付イテ、親シク豫算委員會ニ於テ御述ベニナッテ居リマスルガ、其御演說ヲ速記録ニ於テ見マスルト云フト、斯様ニ御述ベニナッテ居ルノデアリマス、「要スルニ當議會ニ於テノ財政ト申スモノハ、前内閣ニ於テ計畫サレタモノヲ襲踏シテ、是ガ實行ヲ計ルト云フニ止シテ居リマス、ト申スハ例ヘテ申セバ滿洲ノ經營ト申シテモ、支那トノ條約ノ批准ハ、僅ニ昨日了シタト云フ報知ヲ得タ時デ、尙戰爭ヲ止メタト云フ位ノ時デ、即チ戰爭ヲ止メテ平和ニナル過渡ノ時デ、即チ今日ハ研究ヲ要スル時デアリマスカラ、大體ニ付イテノ戰後ノ經營ハ、未ダ今日確定シテ居ラヌデアリマス、此事ニ付キマシテハ、新内閣ガ來ル議會マデニ、十分ノ考慮研究ヲ致シテ、戰後ノ大經綸ヲ立テ、提出スル積デアリマス」ト云フコトニ付イテ伺ヒマス、即チ本員等ノ考ヘルトコロニ依レバ、鐵道買收ノ如キハ、戰後ノ是ハ經營

ノ中ノ最モ大部分ナルモノデアルト信ジマス、而シテ總理大臣ハ戰後ノ大經綸ハ次ノ議會ニ計畫ヲ立テ、諸君ノ協贊ヲ煩ハスト言ハレタノハ、明カニ今ヲ去ルコト一箇月以前ノコトデアル、然ルニ現内閣ハ時勢ノ變遷ト云フモノヲ如何ニ見ラレタノカ、僅カニ一箇月モ立タナイノニ、而モ議會ノ終ルコト僅カニ一週間ヲ出デザル今日ニ於テ、是ノ如キ大問題ヲ突如トシテ提出セラレテ、俄ニ是ガ通過ヲ計ラル、ト云フコトハ、本員等ハ曩ノ總理大臣ノ御宣言ト矛盾スルカヤウニ思フノデアリマス、而シテ政府ハ其後如何ニ時勢ノ變遷ヲ認メラレタノデアルカ、又今日議會ノ期日モ切迫シタ際ニ、何故ニ此案ヲ提出セラレタノデアリマスガ、此儀ヲ御尋シタイノデアリマス、ソレカラ第二ハ、總理大臣ハ昨日本委員會ニ於テ、戰後ノ經營トシテ、産業ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ、戰後經營ノ最モ急務中ノ急務デアルト云フコトヲ論セラレタ、如何ニモ其通デアル、而シテ總理大臣ハ、産業ノ發達ヲ計ルニハ、運輸交通ノ便ヲ圖ルコトガ必要デアルト言ハレタ、是モ吾々ノ異議ノナイトコロデアル、然ルニ政府ハ是モド運輸交通ノ必要デアル、戰後經營中ノ急務中ノ急務デアルト言ヒナガラ、山陰道ノ數箇國ハ如何デアルカ、山陰道ノ間ニハ、僅ニ目ニモ止マラナイ位ノ小サイ鐵道ガ敷設サレテ居ルニ過ギナイ、而シテ山脈ヲ隔テ、山陽道ヲ見レバ、山陽鐵道ト云フモノガアッデ、晝夜數回モ汽車ガ運轉シテ居ッテ、國利民福ヲ益盛ニシテ居ル、而シテ山脈ヲ隔テ、居ル山陰道ニ於テハ、寂々寥々タルモノデアッデ、殆ド山陰道ノ產物ハ、今ヨリ十年前モ、十年後ノ今日ニ至ルモ、少シモ舉ガルコトハナイ、是ハ内國ニ於キマシテ、最モ運輸交通ノ便ノ開ケナイトコロデアル、然ルニ一面四國ヲ見テモ、四國ハ阿波鐵道ガアルノミデアッデ、其大部分ハ未ダ交通運輸ノ機關タル鐵道ノ恩澤ニ浴スルコトハ出來ナイ、而シテ又北陸道ニ於ケル富山直江津間ハ、本年ノ豫算ニ於テ始メテ要求セラレテ、今後八箇年ヲ期シテ完成スル計畫ガアリマスガ、爾來今日マデ政府ノ計畫ニ依レバ、最初政府ガ計畫シタ年限ニ於テ、鐵道ヲ完成シタコトハ稀デアッデ、必ヤ二年若クハ三年ノ時日ガ延ビルト云フコトハ、是マデノ歴史ガ證明シテ居ル、果シテ然ラバ此八年、十年、若クハ十數箇年ノ後ニアラサレバ、完成スルコトガ出來ナイト云フコトハ、既往ノ歴史ニ依ッテ判斷スルコトヲ躊躇シナイノデアル、富山直江津間ノ鐵道ハ、本員ガ茲ニ申上ケルマデモナク一ハ北陸全體ヲ關聯スル線路デアルノミナラズ、一面ニ於テハ關西ト北陸、關西ト東北ノ關係ヲ附ケルトコロノ最大有益ナル線路デアル、是ノ如キ有益ナル線路デアル、是ノ如キ有益ナル線路ヲ十數年後ニ至ラザレバ完成スルコトガ出來ナイト云フコトハ、何事デアリマセウカ、其他前申ス通、此等ノ山陰道ノ多數ノ人民ヲ無視シテ、十年二十年ノ後マデ待タシテ置キナガラ、一方デハ今マデ掛ッテ居ルトコロノモノヘ、更ニ便利ノ上ニ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、均シク國家ノ人民デアルニモ拘ハラズ、愛憎ノ心ヲ以テ事ヲ決スルガ如キ感ガ起ルノデアル、而シテ政府ハ是ノ如キ未成線ガ存シテ居ルニモ拘ハラズ、既成線ヲ買收シナケレバナラヌト云フ理由ガ、何處ニアルノデアルカ、又山陰道ハ五十年十年延バシテ宜シイト云フ理由ハ何處ニアルノデアルカ、ソレヲ聞キタイ、ソレカラ今一ツハ日本鐵道會社ニ交付シタル政府ノ特許條約ト云フモノヲ見ルト、第一條斯ウ云フコトガアル「日本鐵道會社ニ於テ東京ヨリ高崎ヲ經テ前橋ニ到リ夫ヨリ白河仙臺盛岡ヲ經テ青森ニ到ル鐵道ヲ建築シ運輸ノ業ヲ營ムコトヲ特許ス」ト明記シテ居ル、サウシテ第二十七條ニ「此特許

條約ノ期限ハ、明治十五年一月ヨリ向九十九箇年トス但五十箇年經過ノ後ハ政府ニ於テ何時ニテモ鐵道及第三條ニ掲クル附屬物ヲ買上クルノ權アルモノトス「ト書イテアル、シテ見ルト云フト、此特許條約ニ依ッテ見ルト、是ハ唯普通ノ法律ト事變ハリマシテ、恰モ政府ガ航海獎勵、若クハ造船獎勵ニ於テ、會社ト契約シテ、幾年ノ間ハ運賃ヲコレノ極メルト云フト同ジク、是ハ政府ガ一時ノ工部省ガ政府ヲ代表シテ日本鐵道會社ト特約ヲ結ンダト同ジコトアル、然ラバ是ハ公法上ノ契約アルト信ズルノアル、此公法上ノ契約アルト信ズルノアル、此公法上ノ契約ヲ無視シテ、強制的ニ政府ガ買収スルト云フコトハ、是ハ我憲法ヲ無視スルノ甚シキモノデハナイカト云フ眞ガアルノアル、此點ニ付イテ、總理大臣ハ如何ナル御考デアリマスカト云フコトヲ御説明ヲ請ヒマス、ツレカラ次ハ大藏大臣ニ向ッテ質問ヲ致シマス、此鐵道買収案ナルモノハ、是ハ一般歲計豫算トモ實ニ密接ヲ大關係ヲ持ッテ居ルモノデアル、而シテ本員ガ申上グルマデモナク、本年度ノ豫算ヲ見マスレバ、歲入歲出ハ殆ンド權衡ヲ失シ、歲入ノ足ラザルコト約八千万圓デアリマス、一國ノ財政ノ基礎ガ歲入歲出ハズシテ、歲入ノ不足ヲ公債ニ求ムルト云フ程、危險ナルコトハナイノアル、然ルニ此三十九年度ノ豫算ハ、實ニ八千万圓餘ノ歲入不足ヲ告ゲテ居ルノアル、此歲入不足ヲ公債ニ求メテアル、此八千万圓ノ公債ヲ募集シナケレバナラヌト云フコトハ、吾々暫クモ心頭カラ忘レルコトノ出來ヌ一大苦痛デアルト信ズルモノデアル、而シテ此八千万圓ノ歲入不足ハ然ラバ本年度限リカト申シテ見マスレバ、實ニ數年ニ亘ッテ、是ダケノ歲入不足ヲ告グルコトハ明カナコトデアル、當ニ八千万圓ナルノミナラズ、昨日總理大臣ハ此鐵道法案ヲ此議會ニ出シタト云フコトハ、最モ適切デアルト云フコトノ例ヲ引イテ、其理由トシテ言ハルトコロヲ聞キマスレバ、明年度ニナレバ、國防ノ如キ、滿韓經營ノ如キコトニ全力ヲ注ガナケレバナラヌノデアルカラ、此鐵道問題ハ、是非共今解決スル必要ガアルト言ハレタ、シテ見マスレバ國防ノコトト云ヒ、滿韓ノコトト云ヒ、何レモ經營ニ付イテ從ッテ金ノ要スル仕事デアアル、果シテ然ラバ、本年ハ八千万圓デアリマスガ、此一例ヲ以テ推測スレバ、明年度ニ於テハ或ハ恐レ八千万圓以上、若クハ一億萬圓以上ノ公債ヲ以テ、歲入不足ヲ補ナハナケレバナラヌト云フヤウナ、悲ムベキ境遇ニ陥ラヌカト云フコトヲ、心密ニ心配シテ居ルモノデアリマス、然ルニ一面ニ於テハ——然ルニ一面ニ於テハ、是ノ如キ場合デアラフ、尙且本年度ノ豫算ニ依ッテ見マスツ、四億三千萬圓ノ公債ヲ募集シナケレバナラヌ、而シテ既ニ現ニ二億圓ト云フ公債ヲ募集シツ、アル、尤モ此四億三千萬圓中、一億五千萬圓ハ論功行賞ト致シマシテ、直接ニ市場ニ公債ヲ募集セズシテ、論功行賞トシテ本人ニ渡サル、ノデアリマスカラ、市場ニ於テ募集スル程ノ困難ハゴザイマスマイケレドモ、等シク矢張我國内ニ於テ一億五千萬圓ト云フ公債ガ増加スルノアル、今二億圓ヲ募集シ、一億五千萬圓ヲ増加シ、尙此場合ニ於テ八千万圓ノ増加ヲ見テ、公債ヲ募集スルト云フノデアリマスカラ、是モ必ズ本年度ニ於テ五千万圓カ七千万圓ハ募集シナケレバナラヌデアラウ、シテ見マスレバ、殆ド本年中ニ於テ四億圓乃至四億三千萬圓ノ公債ヲ増加サル、ノデアアル、加之今ヨリ三五年ノ間ニ、是ノ如キ五億ニ近イ公債ガ市場ニ溢ル、コトニナリマスレバ、需用供給ノ途ヨリ公債ノ下落スルコトハ實ニ明カニ速斷ガ出來ルコトデアル、然ルニ昨日大藏大臣ハ若シ左様ナコトガアレバ、政府

ニ買上グルト云フ簡單ナ不親切ナ答辯ヲ以テ、ツレデ吾々ニ安心ヲ強ヒラレデモ、本員等ハ決シテツレヲ以テ満足スルコトハ出來ヌ、是ノ如ク我國ノ財政ノ前途ヲ憶ヒ起シテ見タナラバ、實ニ薄氷ヲ履ムノ思ガアルノアル、然ルニ政府ハ何事デアルカ、此戰後ノ大經營トシテ、イロ／＼ナコトガ關聯シテ居ルニ拘ハラズ、是ノ如ク五年若クハ三年ノ間ニ多額ノ公債ヲ國內ニ散布スルト云フ案ヲ提出サル、ト云フコトハ、實ニ危險ナルコトデアラフ、此結果必ズ我國ノ公債市場ニ一大恐慌ヲ起シ、延イテハ財政經濟ノ紊亂トナラヌトモ限ラヌカラ、本員等ハ此案ニ贊否ヲ表スルニ當ッテ、此公債ノ下落スルト否トハ、最モ懸念スルトコロデアリマシテ、此事ハ明カニ公債ガ下落セヌモノデアルト云フコトヲ、即チ斷定ヲ下サザル以上ハ、勢ヒ此案ト云フモノニ向ッテ、贊成ヲスルコトハ出來ヌト云フコトニナラヌデアリマスカラ、此財政ノ點ニ付イテ、大藏大臣ノ十分御説明アラシコトヲ希望致シマス

○内閣總理大臣侯爵西園寺公望君 唯今ノ質問ニ御答致シマス

○加藤政之助君 序ニ昨日私ノ質問モ……

○内閣總理大臣侯爵西園寺公望君 貴下ノハ何ンデシタカ——チヨットツレハ後トニ願ヒマス、改メテ御質問ヒテ願ヒマス、唯今御質問ニナッタ方ハ、私ニ第一ニ御禮ヲ申サナケレバナラヌ此交通ヲ便利ニシ民力ヲ發達スルト云フコトハ無論論ハナイノアル、此事ハ大贊成デアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ誠ニ本大臣竝ニ政府ノ心ヲ獲タモノデアリマシテ、謹テ謝辭ヲ述ベマス、第一ノ御問ニハ、本大臣ガ前日戰後ノ經營ハ明年ヲ待ッテ之ヲ致スト云フ、其言葉モ未ダ終ラザルニ、今年鐵道買収ト云フコトヲシテ、是ハ戰後經營ノ最モ急務ナルモノデアルト云フノハ、前後其言葉ガ撞キ合フデナイカト云フヤウナ御問ノヤウニ考ヘマスガ、即チ急務中ノ急務タル所以デアリマシテ、一日モ忽セニスベカラズト申シタ所以デアアル、又此戰後ノ經營ト云フモノハ、實ニ是ノ如ク我國ヲ賭シテ大ナル戰ヒヲ致シタ後デアリマシテ、大體ノコトニ付イテ、總テ經綸ハ明年ヲ待タナケレバ出來ヌト申ス意味デアアルデアリマス、明年ヲ待ッテカラスルト云フ意味デアリマシテ、出來ルナラバ今日唯今デモ、此經營ヲ仕上ゲタイノデアリマスガ、奈何セン我國ノ民力、今日ノ我國ノ境遇ガ左様ニハ出來ナイカラシテ、是ハ已ムコトヲ得ズ、明年ニテモ至ッテ、是ヲ完ウスルト云フ譯デアリマシテ、私ノ考デアハ出來ルナラバ、無論今日デモ致シタイ、即チ度々述ベマシタ如ク、鐵道經綸ノ如キハ最モ急ヲ要スルモノデアルカラシテ、誠ニムツカシイ時ニモ拘ハラズ、今日急務中ノ急務トシテ致ス譯デアリマシテ、是ハ則チ國家ヲ憂フルノ精神ヨリ出タ譯デゴザイマシテ、苟モ國家ヲ料理スルモノハ、自カラ順序モ關係モアリマスカラ、是ハモウ私ハ斷シテ決シテ願慮スルトコロナク、今日ヨリ着手ヲシタ所以デゴザイマス、即チ是ハ國家ヲ料理スル順序デアアルデアリマス、ツレカラ或ハ人權ヲ害シナイカト云フヤウナ意味ノ御尋モアッタヤウニ考ヘマスガ、是ハ各々見ル所デアリマシテ、質問者ニ於テハ左様ニ考ヘラレカ知リマセヌガ、私ハ決シテ左様ナコトハナイ、此鐵道國有ノコトニ拘ハラズ、例ヘテ見レバ、土地收用法ノ如キモ、如何ニ收用ガ嫌ダト言ッデモ、法律ヲ以テヤル譯デアリマス、如何ナル國ト雖モ、是ハ國家ガ必要ヲ感ジタ時ハ、已ムヲ得ヌコト、私ハ考ヘマス、又北越或ハ山陰ノ如キ、其國民ハ此鐵道ノ便利ヲ得ルコトガ出來ナイ、甚ダ一方ニ厚クシテ、一方ニ薄イト云フ嫌ハナイカ、斯ウ云フ御尋デアッタヤウニ

思ヒマス、是ハズン／＼ヤル積アリマス、民有ニ歸シテ置イテハ、ナカ／＼出來ナイ鐵道マデモ——其事ニ付キマシテハ、唯今調ヲ致シテ居ルノデゴザイマスカラ、ドウカ御安心ヲ下サイマスヤウニ願ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 金岡君ノ御質問ノ財政ノコトニ付イテ申シマスガ、ソレハ昨日大石君ノ御問ニモ御答シタコトガアル、或ハ重複ニナルヤウニ考ヘマスガ、一應御答ヲ致シマス、四十年度ノ財政ノコトニ付キマシテハ、今總理大臣カラ御答サレマシタ通、マダ未決ノ問題アリマス、併ナガラ此滿洲ノ事ト云ヒ、朝鮮ノ事ト云ヒ、苟モ利源ヲ開發スルトコロノモデアレバ、其利源ニ伴フヲ、又財源モ講究セネバナラヌコトガアリマセウト考ヘマス、ソレデ唯經常費ノ不足ト云フモノヲ如何ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ既ニ豫算ノ會議デモ御答致シマシタ通ニ、國力ノ許サヌ經常ノ歲出ノ増加ハ、固ヨリ出來ルモノデナイ、即チ四十年度ニ於ケル歲入ノ増減ヲ考ヘ、適當ナル國力ノ範圍内ニ於テ計畫ヲ立テルト云フコトヨリ外仕方ガアルマイト思ヒマス、故ニ滿洲及朝鮮ニ於キマシテ、利源ノ開發ニ關セザルトコロノ費用ヲ多クカケルト云フヤウナ場合デアレバ、是ハ成程困難デアリマス、政府ハ別段此利源ノ開發ニ關係セヌ費用ヲ多ク使フト云フヤウナ考ヲ持テ居リマセヌ、是等ノ事ト云フモノハ、今日ニ於キマシテハ、未ダ物ガ具體ニナラヌコトデアリマスカラ、雙方共議論ガ多ク想像ニ屬スルヤウナコトニナラウト思ヒマス、併ナガラ本大臣ノ考ヘルトコロデハ、國力ノ許ス範圍内デ、之ヲ整理スル外ニハ仕方ガナイト存シマス、而シテ公債ノ價格ノコトデゴザイマスガ、此公債ノ價格ハ、昨日モ申シマシタヤウニ、其公債ノ元利ガ拂ヘヌト云フコトデアレバ、是ハ影響スルニ違ヒナイ、公債ノ元利ガ拂ヘルモノデアッテ市場相當ナ利廻ノモノデアレバ、下落ト云フコトハナイノデアリマス、固ヨリ此度ノ公債ハ、鐵道ノ株券ト交換スルモノデアリマスカラ、持主ガ其公債ヲ賣ルカモ知レヌ、賣タトコロガ、其金ヲドウスルデアルト云フ問題ガ起リマス、既ニ今日デモ或ハ銀行ニ依リマシテハ、大藏省證券ト云フモノヲ買ホウト思フモノ無イ、自分ノ所ニ遊ンデ居ル金ヲドウカシタイト云フコトガ、現ニ新聞ニモ出テ居ル通ノコトデアリマス、即チ此金ト云フモノハドウシテモ子ヲ産サナケレバナラヌ、子ヲ産サナケレバナラヌトスルナラバ、政府カラ公債證券ヲ賣ッテ金ヲドウスルノデアルカ、矢張有價證券カ何カラ買ハナケレバナラヌ、唯此公債ヲ持テ居ッテ、政府ガ拂ハヌカモ知レヌト云フコトニナラナラバ、ソレハ公債ノ直段ガ固ヨリ落チルニ相違ナイケレドモ元利ヲ拂フト云フコトガ確カナモノデアリマシタナラバ、誰モ公債ヲ捨テ人ガアラウ者ガナイ、唯一時ニ公債ガ集マルト溜ルト云フコトハ論ノナイ話デアリマス、ソレ故ニ昨日モ申シマシタ通ニ、政府ハ公債證券ヲ一時ニ渡サナイ、五箇年內ニ買ッテ二箇年內ニ公債證券ヲ渡ス前後七箇年ノ年期ヲ見デアリマス、金岡君ガ公債ガ殖エレバ、下落スルト仰シタルガ、ソレナラバ國ノ發達シヤウガナイ、有價證券ニシテモ何ニシテモ、國ノ發達ト共ニ殖エルモノデアル、其殖エル方法——償還ノ方法ハ、一時ニ増發シテ往カヌヤウニ注意シテ往クニアルト考ヘマス、是ダケ申シテ置キマス

○淺野陽吉君 唯今ノ遞信省ノ御方ノ御答辯ニ據ルト、將來ニ對スル鐵道統一計畫ハ有ルカノ如ク、又無キカノ如キ御答辯デアリマシタ、是ハ國有ニナル第一ノ主眼デアラウト思ヒマスガ、ソレガ御答辯ニ依ルト、有ルカノ如ク又無キカノ如キ御答デアリマシタガ、ソレハ甚ダ不親切ナコト、思ヒマス、無キレバ無イテ仕方ガナイト思ヒマス、若シ漠然タル計畫ノ案デモアリマシタナラバ、ソレヲ御示シテ願ヒタイ、之ヲ希望シテ置キマス、其次ニ唯今ノ御答ニナリマシタ大藏大臣ノ御答辯ノ中ノ公債ノ將來ノ價格云々ト云フコトデゴザイマスガ、免二角株券ガ公債ト云フ有價券ニ變ズルノミニ止マルノデアルケレドモ、

公債ノ多イ今日ニ於テ、尙四五億ノ公債ヲ出スコトハ、形ノ上ニ其供給ガ殖エルノデアアルカラ、公債ノ相場ガ内外ノ市場デ、多少ノ低廉ヲ見ハシナイカト云フ憂ガアルニ相違ナイ、大藏大臣ト雖モ其マデニ於テ不安心ガアラウト思ヒマス、要スルニ之ヲ五六箇年ニ時機ヲ見テ引換エレバ、公債ノ吸收ニ於テ差支ナイト云フ點デアラウト思ヒマス、其公債價格ノ將來如何ト云フコトハ、我國ノ公債ノ吸收力ノ程度ガドレダケデアルカト云フコトニ依ッテ定ルノデアルト思ヒマス、此公債ノ吸收力如何ト云フコトガ第一ノ疑問デアラウト思ヒマス、ソレヲ決定スル材料トシテ、私ハ大藏省ニ要求シマスノハ、是ダケノコトハ是非御示シテ願ヒタイト思ヒマス、我國ノ日本銀行ニ抵當若クハ保證トナッテ這入ッテ居ル各種ノ鐵道株券ノ金額ガ、現在幾何デアルカ、茲ニ日本銀行ニ保證若クハ抵當トシテアル、公債ノ金額ハ幾何デアルカ、此二ツガ現在ノ兌換券ノ金額ニ對シテノ割合ハドウナッテ居ルカト云フコトハ、取引所ニ於テ現在ノ公賣カレテ居リマス鐵道株券ノ額ト、公債ノ金額ハドウ位今ハ行ハレツ、アルカト云フ、此平均ノ材料ヲ御示シテ願ヒタイ、私ハ決シテ議論ノヤウナ質問デモ何デモナイ、一ノ材料ノ請求デアリマス、ソレダケノコトヲ一ツ御示シテ願ヒタイ、是ハ大藏大臣ガ將來ノ公債ノ價格云々ト云フコトニ付イテ、意見ヲ定メル上ニハ、既ニ御調査ニナッテ居ルト思ヒマスカラ、此御提供ヲ請求シマス

○政府委員山之内一次君 唯今淺野君ノ御尋ニ付キマシテ、先刻足ラザルトコロガアルカノ如ク御話デアリマシタカラ、尙御答ヲ致シマス先刻ノ御尋ニ御答ヲ致シマシタノハ、統一ヲ致シマスルト云フト、遠距離遞減ノ如キ、大イニ運賃ノ遞減ガ出來ル尙又其外ニモ悉クノ線路ヲ總テ如何ナル今日會社ニ屬シテ居ルモノデモ、悉ク一定不動ニ減額ガ出來得ルカト云フコトハ、十分ニ申上兼ケレドモ、大體尙減額ヲ得ル餘地ガアルト認メルト云フコトヲ御話致シマシタノデ、何フ今幾ラスルカト云フ、其數字ヲ御答スルコトガ今出來ヌケレドモ、大イニ減額ヲ得ルコトハ認メテ、其積リテ居ルト云フコトヲバ、御話ヲ致シマシタノデアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○委員長長谷場純孝君 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、モウ會期モ切迫致シマスシ、ソレカラ重大ナル問題デ、諸君ノ御議論モ多カラウト思ヒマスガ、明日ハ日曜デゴザイマスケレドモ、開會シマシタラ、ドウデゴザイマセウカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ加藤政之助君「日曜ハ休ミタイモノ」デゴザイマスソナ馬鹿ナコトハナイ」ト呼ブ)

○委員長長谷場純孝君 馬鹿ラシイト云フガ、重大ナル問題デ會期切迫ノ場合ダカラ、御諮リスルノデス、ソレデハ採決致シマス、明日ハ休マズシテヤルト云フ御方ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○委員長長谷場純孝君 少數デゴザイマス、明日ハソレデハ休ミマス

○渡邊修君 買収スベキ鐵道會社ガ二十二アリマスガ、開クトコロニ依ルト、殘ッテ居シ鐵道ガ伊豫鐵道、青梅鐵道、佐野鐵道、龍ヶ崎鐵道、上野鐵道、此五鐵道ガ此中ニ這入ッテ居ラヌサウデアリマスガ、之ヲ皆買収スルストスレバ、ドウ位買収スルヤウニナリマスカ、御調ベガアレバ御示シテ願ヒマス、御調ベガナケレバ、ドウカ速カニ御調査ノ上御廻ハシテ願ヒタイ

○遞信大臣山縣伊三郎君 取調ベテ申上ゲマス

○委員長長谷場純孝君 今日ハ是デ散會致シマス、明後月曜日ハ午前十時ニ開會致シマス

午後零時四分散會